

令和5年度 東特別支援学校 学校教育ビジョン

コミュニティ・スクール みんなの「共通の願い」

誰もが自分らしく生き生きと過ごす 誰もが自己表現し、対話する 誰もが自己効力感・自己肯定感がある
誰もが気軽に商店・公共施設や交通機関・福祉サービスを利用する 誰もが気軽に地域の活動に参加する
そんな子どもに育ててほしい! そんな地域になってほしい!

学校教育目標： 自分のことは自分でしよう みんなとなかよくしよう じょうぶな体にしよう

<中学部で育成したい資質・能力>

できることを増やそうとする力。いろいろな人とかかわりあおうとする力。 健康な生活をしようとする力。

<小学部で育成したい資質・能力>

できることを自分でしようとする力。 まわりの人と仲良くしようとする力。 元気に生活しようとする力。



目指す資質・能力を育成するために！ 重点目標①

「各教科等の個別の指導計画」に基づく、一人一人の目標・手立てが明確な授業の実践・改善

- ◆学習指導要領解説と子どもの実態を根拠に、チームで見直し続ける年間指導計画・個別の指導計画
- ◆年間指導計画と個別の指導計画に基づき、確かな個人目標と手立てがある単元題材計画・授業計画の具体化
- ◆校内研究「10のキーワード、3つの問い」から、チームで検討・改善を重ねる授業実践

目指す資質・能力を育成するために！ 重点目標②

「自立活動の個別の指導計画」に基づく、育成したい資質・能力の基盤を培う自立活動の徹底・改善

- ◆学習指導要領解説に則し、指導目標設定に至る根拠・指導内容までチームで検討・確認する個別の指導計画
- ◆地域まるごと研修（行動障がい）の知見から、行動障がいの予防・社会参加促進につながる内容・支援の選定
- ◆課題別学習の時間を中心に、教育活動全体を通じて、チームで徹底・継続・改善する自立活動の指導

目指す資質・能力を育成するために！ 重点目標③

校外の人材や諸機関等と協働することで、コミュニティ・スクール「共通の願い」に近づく教育活動

- ◆地域とかかわり、豊かな体験を重ねることで、資質・能力を育み、共生社会の実現にもつなげる教育実践
- ◆課題解決のために、OT・ST・医師・その他多様な専門家・関係機関と積極的につながる連携・協働実践
- ◆外部専門家の支援も得て、組織として専門性を継承・共有・向上していける研修体制の構築・推進

目指す学校づくり チェックポイント



チェックポイント① 子どもの人権・尊厳・健康を守り、支持的風土に満ちた学校

確かな人権感覚は、当校開校の原点です。子どもの人権・尊厳・健康を守り、支持的風土（※認め合い、助け合い、期待を掛け合い、高め合う、温かい風土 2020 新潟市教委）の学校をつくります。

チェックポイント② 専門性を継承・共有・向上し続ける学校

職員の異動が毎年あります。教員の新しい研修履歴制、新採用全教員が特別支援教育を複数年経験する人事措置も始まろうとしていることから、組織として専門性を継承・共有・向上し続ける学校をつくります。

チェックポイント③ 地域と連携・協働する学校

学校だけは、地域だけでは、できないことがあります。今現在も将来も、地域で豊かに生きる力を子どもに育み、コミュニティ・スクール「共通の願い」を叶えるために、地域と連携・協働する学校をつくります。

チェックポイント④ 働き方改革に取り組む学校

学校は、子どもに規則や道徳を教える場です。改正労働基準法を遵守できる組織でなければなりません。よりよい授業のための検討・準備時間を確保でき、工夫と活力ある授業を持続できる学校をつくります。